資料4

和泉市水道ビジョン・経営戦略

～各施策に関する進捗状況～



イメージキャラクター
オッスィ・ジョッスィ

１．各施策の進捗管理について

●施策体系

「和泉市水道ビジョン・経営戦略」では、基本理念及び理想像である「安全」「強靭」「持続」の観点から、６つの基本施策に基づき、２４の具体的な取組みを設定しています。

施策体系については右図のとおりです。

次のページから、「安全」「強靭」「持続」の分野ごとに、令和７（２０２５）年度における主な実施内容と評価結果を示します。



理想像	基本施策	具体的な取組み	
安全	水質管理体制の強化	①	水質基準の改正に対応した水質検査内容の充実
		②	安全で安心して飲める水道水の確保
		③	小規模貯水槽水道の管理についての啓発
強靭	災害に備えて	④	水道施設及び管路の耐震化
		⑤	緊急時用給水栓の設置
		⑥	応急時の資機材整備
		⑦	相互応援体制の継続・危機管理能力の向上
		⑧	停電対策
持続	水道施設及び管路の整備	⑨	老朽化施設の更新
		⑩	老朽化管路の更新
	健全経営を保ち続けるために	⑪	黒字と資金の確保
		⑫	施設整備事業の見直し
		⑬	事務業務の見直し
		⑭	公共工事コストの縮減
		⑮	技術の継承・人材育成
		⑯	広域化の取組み
		⑰	官民連携
	市民サービスの充実	⑱	窓口サービスの向上
		⑲	料金収納方法の検討
		⑳	広報・広聴活動の充実
		㉑	環境学習、社会学習の場の提供
	環境保全への貢献	㉒	新エネルギーの活用
		㉓	有効率、有収率の向上
		㉔	廃棄物の削減・リサイクル

2．「安全」　～水質管理体制の強化～

具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
①水質基準の改正に対応した水質検査内容の充実	令和6年8月に改訂した「和泉市上下水道部水安全計画」に基づき水源から蛇口までの水質検査を適切に実施した。	A
②安全で安心して飲める水道水の確保	「和泉市上下水道事業水質検査計画」に基づき、51項目の水質検査を行い安全な水道水を提供した。	A
③小規模貯水槽水道の管理についての啓発	「上下すいどうだより」の配布やホームページへの情報掲載等を活用して、周知や啓発を行った。	A

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

2．「安全」　～水質管理体制の強化～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
①	水源の水質事故件数(%)	0	**0**	0	0
②	浄水の水質事故件数(件/年)	0	**0**	0	0
③	啓発（広報誌による情報提供）(回/年)	1	**1**	1	1

3．「強靭」　～災害に備えて～

具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
④水道施設及び管路の耐震化	鶴山台配水場の更新に向け基本設計を完了した。 管路更新工事を進め、耐震化率・耐震適合化率を向上させた。	A
⑤緊急時用給水栓の設置	市内24施設の指定避難所及び指定福祉避難所への設置計画を策定した。（R8～12年度に掛けて設置予定）	A
⑥応急時の資機材整備	老朽化した組立式簡易貯水槽の入替えを実施した。 これまでの資機材配備に加え、新たに非常用携帯トイレを備蓄した。	A
⑦相互応援体制の継続・危機管理能力の向上	地域防災訓練（北池田中学校区）に参加した。 緊急連絡管訓練（泉大津市・高石市）を実施した。 耐震性緊急貯水槽訓練（和泉中・信太中）を実施した。 大阪府水道災害情報伝達訓練に参加した。	A
⑧停電対策	鶴山台配水場更新に伴う基本設計に自家発電設備の整備を組み込んだ。	A

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

3．「強靭」　～災害に備えて～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
④	浄水施設の耐震化率(%)	58.3	**58.3**	58.3	58.3
④	ポンプ所の耐震化率(%)	94.5	**94.5**	100	100
④	配水池の耐震化率(%)	84.2	**84.2**	93.8	99.4
④	管路の耐震管率(%)	24.3	**25.8**	32.1	39.9
④	管路の耐震適合率(%)	44.0	**45.3**	50.3	57.7
④	基幹管路の耐震管率(%)	76.6	**77.8**	82.0	82.0
④	基幹管路の耐震適合率(%)	92.8	**92.8**	97.8	97.8

3．「強靭」　～災害に備えて～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
④	重要給水施設配水管路の耐震管率(%)	44.9	**45.6**	70.1	70.1
④	重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)	74.9	**76.6**	100	100
⑤	緊急時用給水栓設置率(%)	0	**0**	80.0	100
⑦	災害対策訓練実施回数(回/年)	2	**4**	4	4





4．「持続」　～水道施設及び管路の整備～

具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
⑨老朽化施設の更新	鶴山台配水場更新に向け基本設計の策定を行った。 山荘配水場から、はつが野配水場へ配水エリアの切替えを行い、山荘配水場の耐震性の無い高架タンクを休止した。	A
⑩老朽化管路の更新	【管路の耐震管率・耐震適合管率】 耐震管率：令和6年度：25.29%⇒令和7年度25.75% 耐震適合管率：令和6年度：44.88%⇒令和7年度45.25% 【基幹管路の耐震管率・耐震適合管】 耐震管率：令和6年度：77.00%⇒令和7年度77.75% 耐震適合管率：令和6年度：92.82%⇒令和7年度92.83% 【重要給水施設配水管路の耐震管率・耐震適合管率】 耐震管率：令和6年度：45.10%⇒令和7年度45.62% 耐震適合管率：令和6年度：76.08%⇒令和7年度76.59% 【更新工事】 基幹管路　L=335.3m 配水支管　L=2,096.2m （うち重要給水施設配水管路L=332.7m） 【管路更新率】 令和6年度：0.42%　令和7年度：0.41%	B

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

4．「持続」　～水道施設及び管路の整備～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
⑩	管路の耐震管率(%) ※再掲	24.3	**25.8**	32.1	39.9
⑩	管路の耐震適合率(%) ※再掲	44.0	**45.3**	50.3	57.7
⑩	基幹管路の耐震管率(%) ※再掲	76.6	**77.8**	82.0	82.0
⑩	基幹管路の耐震適合率(%)　※再掲	92.8	**92.8**	97.8	97.8
⑩	重要給水施設配水管路の耐震管率(%)　※再掲	44.9	**45.6**	70.1	70.1
⑩	重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)　※再掲	74.9	**76.6**	100	100
⑩	管路更新率(%)	0.45	**0.41**	1.25	1.25

4．「持続」　～健全経営を保ち続けるために～

具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
⑪黒字と資金の確保	短期有価証券による資金運用を実施した。企業債借入を実施した。	B
⑫施設整備事業の見直し	「和泉市水道管路更新計画」及び「和泉市鋳鉄管更新計画」を策定した。	A
⑬事務業務の見直し	申請者の利便性向上並びに市の事務効率化のため、臨時給水予納金前納制度を廃止する条例改正を実施した。 量水器取替業務委託において、システムへの記録や水道使用者への案内用紙出力を現地で行えるようハンディ端末を導入した。	A
⑭公共工事コストの縮減	水道工事で使用する水道管をダクタイル鋳鉄管から配水用ポリエチレン管へ変更　（口径φ75mm～Φ150mmが対象）	A
⑮技術の継承・人材育成	漏水修理訓練等の部内訓練を年14回実施した。水道関連団体が実施する外部研修会へ、技術職員を中心に述べ25名が参加した。大学生インターンシップの受入れを行った。	A
⑯広域化の取組み	人工衛星を活用した漏水調査業務を他水道事業体と共同発注した。水質検体搬送業務を他水道事業体と共同発注した。また、水道料金等検針・収納等業務委託（長期継続契約）については平成24年度から継続して他水道事業体と共同発注を行っている。	A
⑰官民連携	新たな発注手法の導入を検討（小規模簡易デザインビルド方式）	A

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

4．「持続」　～健全経営を保ち続けるために～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
⑪	経常収支比率(%)	108.1	**100.5**	100以上	100以上
⑪	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	65.5	**76.5**	400以下	600以下
⑪	料金回収率(%)	101.4	**93.2**	100以上	100以上
⑮	研修の実施(回/年)	5	**14**	5	5





4．「持続」　～市民サービスの充実～

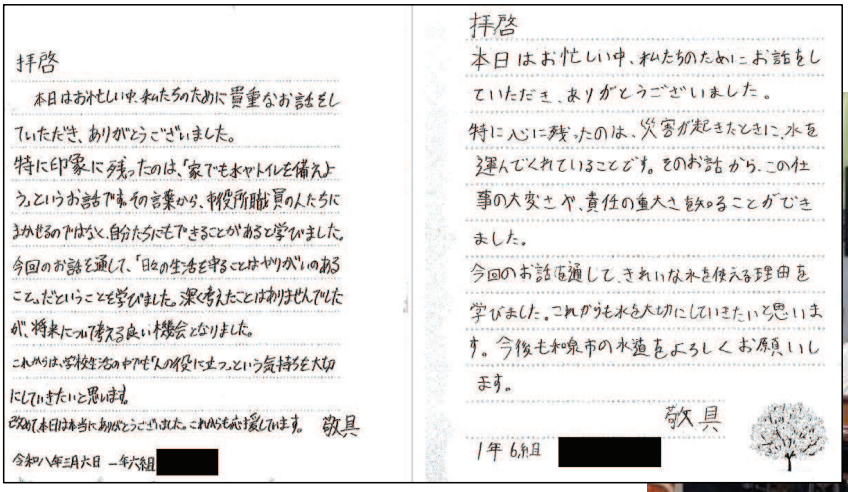
具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
⑱窓口サービスの向上	和泉公式LINEアカウントから、水道の使用開始、休止の仮申請受付を電子で実施している。 検針の際に漏水疑いのある利用者には通知を行い相談を受けるなど、サービス向上を図った。	A
⑲料金収納方法の検討	納入通知書により金融機関で支払う方法のほか、口座振替、コンビニ払い、スマホ払い（電子マネー）に対応している。また、ペイジー導入による口座振替手続きの簡素化を図るなど、利便性の向上を図っている。eL-QRの導入に向け検討を開始した。	A
⑳広報・広聴活動の充実	年２回広報紙「和泉市上下すいどうだより」の発行を行い、水運用や業績等の広報活動を実施した。 ホームページを運営し、水道料金や水質等の市民が知りたい情報を積極的に公開、インターネット上での広報活動を実施した。 広報・備蓄啓発活動のため、上下水道プチフェスタを開催した。	A
㉑環境学習、社会学習の場の提供	和田浄水場の見学会を実施した（いぶき野小・光明台南小）。 出前講座（職業講話）を実施した（石尾中）。	A

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

4．「持続」　～市民サービスの充実～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
㉑	出前講座・見学会でのアンケートの実施（満足度）（点）	－	－ （アンケート未実施）	80以上	90以上



拝啓

本日はお忙しい中、私たちのためにお話をしていただき、ありがとうございました。

特に心に残ったのは、災害が起きたときに、水を運んでくれていることです。そのお話から、この仕事の大変さや、責任の重大さを知ることができました。

今回のお話を通して、きれいな水を供える理由を学びました。これからも水を大切にしていきたいと思います。今後も和泉市の水道をよろしくお願いします。

敬具

1年 6組 [redacted]



4．「持続」　～環境保全への貢献～

具体的な取組み	令和７年度の主な取組内容	評価
㉒新エネルギーの活用	鶴山台配水場更新に伴う基本設計にて配水池のダウンサイジング（6,000㎥⇒4,300㎥）や新エネルギー活用（小水力発電）に向けて導入検討を実施した。	A
㉓有効率、有収率の向上	人工衛星を活用した漏水調査を導入することで、多大な時間と費用を要していた漏水調査の効率化を図り、漏水箇所の修理対応の推進に努めた。	B
㉔廃棄物の削減・リサイクル	公共工事発注の際、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づき、再生資源利用計画書及び実施書を作成し、使用する資材については再生資源を利用し、建築副産物については再資源化施設へ搬出した。	A

【評価の基準】A:現行どおり継続、B:改善し継続、C：縮小、D:休止・廃止

4．「持続」　～環境保全への貢献～

成果指標（KPI）の進捗

具体的取組No.	業務指標	基準値（R4）	当年度（R7）	中間目標（R11）	最終目標（R16）
㉓	有効率(%)	96.7	**95.2**	97.0	97.0
㉓	有収率(%)	94.2	**92.8**	94.5	94.5
㉔	建設副産物のリサイクル率(%)	100	**100**	100	100

5．施策の進捗状況について（まとめ）

基本施策ごとの評価結果は、下図のとおりです。

●計画１年目ということもあり概ね計画通りに進捗しているといえますが、経常収支比率や料金回収率など経営に関する数値の悪化が確認されるため、収支改善を目的とした業務見直し・効率化が必要となっております。

基本施策	取組み数	A評価	B評価	C評価	D評価
水質管理体制の強化	３事業	3	0	0	0
災害に備えて	５事業	5	0	0	0
水道施設及び管路の整備	２事業	1	1	0	0
健全経営を保ち続けるために	７事業	6	1	0	0
市民サービスの充実	４事業	4	0	0	0
環境保全への貢献	３事業	3	1	0	0
まとめ	２４事業	２１	3	0	0